

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会
開 催 日 時	令和5年7月24日（月）午後7時～午後9時
開 催 場 所	中部地区会館 402 学習室A
出 席 者	出席者：諸橋委員、市川委員、椎野委員、中村委員、堀上委員、森本委員、池村委員、谷原委員（計 8名） 欠席者：小山委員、厨川委員（計 2名）
議 題	1 市民意識調査・事業所アンケートについて 2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 第1回武蔵村山市男女共同参画策定市民懇談会会議録について 会議録と運営要領の制定について委員一同より承認を得た。 議題2 市民意識調査・事業所アンケートについて 設問文の表現や表記についての意見があった。問7に「ワーク・ライフ・バランス」を追加することや問9の設問順について委員より修正案をいただき、意見に沿って修正することとした。婚姻の有無で回答対象を制限する設問は、クロス集計の際に属性を把握できるため、対象を絞る文言は削除する。また、DVに関する項目に「社会的暴力」を加えることとした。市民意識調査、事業所調査にも「育業」の愛称に関する設問を設置し、今後の周知のため、実施開始時期等の情報も記載することとした。 議題3 その他 第3回武蔵村山市男女共同参画策定市民懇談会は10月中旬で、調査結果の報告を行う予定である。
審 議 経 過 (発信者) ◎印：座 長 ●印：委 員 □印：事務局 ▼印：一同	1 開会 議題1 第1回武蔵村山市男女共同参画策定市民懇談会会議録について －事務局より説明－ 議題2 市民意識調査・事業所アンケートについて －事務局より説明－ ◎ 市民意識調査について質問や意見はあるか。 ● 今回の調査はウェブによる回答も想定しているということか。 □ そのとおりである。 ● LINEアンケートを利用することはあるのか。 □ 今回の調査では利用しないが、若い世代を中心とした調査では用いることがある。 ◎ 国が実施している調査は回収率が非常に高いように思う。 □ 国の調査では留置法を用いており、設問数が非常に少ないことから回収率が高くなっていると考えられる。 ◎ 同意である。国は毎度同じ設問で調査を実施しており、内容も大まかであった。 □ 市の前回の回収率は、市民意識調査が22.5%、事業所調査が20.3%と低いものであった。総合計画策定のための調査と一体にした調査であり、調査票のボリュームが非常に大きかったため、回収率が伸び悩んだのではないかと推察する。 ● 前回調査では、市民意識調査の対象者が2,000人、事業所調査が546社となっていたが、今回は1,200人、300社と減少している。理由はあ

るのか。

- 今回はウェブ回答も併用することから、気軽に回答いただけると考え対象者を減らしても問題ないと判断した。
- ◎ 武蔵村山市内の18歳未満の人口はどれくらいいるのか。
- 約1万人である。
- ◎ 問7で表記が「DV」のみとなっているが、詳しい説明は必要か。また、括弧書きで「配偶者からの暴力」とあるが、DVは配偶者から受ける暴力に限らないのではないか。
- 表記を「配偶者」から「パートナー」と改める。
- ◎ 「LGBT」の表記についても「LGBTQ」とすべきか。いかがか。
- 括弧書きに性的少数者の方を表す『総称』とある。「LGBT」のまままで問題ないと考える。
- ◎ 法律においても「LGBT」であるため、表記はそのままとする。前回調査では問7で「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知度を聞いていたが、今回はよいのか。
- 大項目としてワーク・ライフ・バランスに関する設問をいくつか設けている。武蔵村山市では、令和3年度にワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度を始めた。制度の目的は、ワーク・ライフ・バランスという言葉や意味を市民、企業に意識していただくことである。ワーク・ライフ・バランスといっても決して認定が難しい制度ではなく、認定事業所を増やすことで意識を高めていただけるような仕組みにした。今回、ワーク・ライフ・バランスをキーワードとして設問を設けたが、問7に加えることも問題ないと考えている。
- ◎ 問10以降にワーク・ライフ・バランスに関連した設問が並んでいるが、言葉を認識しているか聞く必要はあるか。問7に加えても問題ないように思う。
- 問7に追加する。
- 表現についてだが、問6では「自治会やNPO」で、問9では「PTAや自治会」となっている。統一する必要はないのか。
- 問6では国や東京都の調査と比較することを意識し、表記を「自治会やNPO」としている。問9はご結婚されている方への設問であるため、「PTA」を例としている。表記を統一することで新たに分析できる可能性もあるため、問6を「PTAや自治会」とするのはいかがか。
- 表記を「地域活動（自治体、NPO、PTA）」としてはどうか。
- 修正する。
- 問9は結婚している方への設問であるが、子どもがいる前提なのは不自然である。意図的に「学校行事」と「育児や子どものしつけ」を分けているのか。「育児や子どものしつけ」に含めてもよいのではないか。
- 普段の育児やしつけと学校行事への参加とでは、家庭内で役割分担がある。学校に出向く保護者との違いも見えるのではないかと考える。しかし、意見にあった子どもがいる前提の設問が多く感じるのであれば減らしていく。
- ◎ 子どもに関連する設問は、選択肢に「当てはまらない」があるため、問題ないように思うが、いかがか。
- 地域活動と学校行事は明らかに異なるため、分けても問題ない。問9に関しては、仮に分けるのであれば、地域活動と学校関係とで分ける必要があるのではないか。その場合、「ウ。」のPTAと「オ。」の学校行事が重複しているように思う。
- 先程の意見で、「地域活動（自治会、NPO、PTA）」としたが、

分けた方がよいということか。

- 本設問で何を図りたいかにもよるのではないか。
- 問9では子ども関係が羅列し過ぎているように思う。
- ◎ 「オ.子どもの学校行事への参加」はなくしてもよいのではないか。
- 問9の設問の意図を確認したい。
- 性別による役割分担について、年齢や性別とクロス集計を行い、分析するものである。
- 「ア.炊事・洗濯・掃除」、「イ.貯蓄やローンの管理」、「カ.親や家族の介護」が一般的な家庭生活を送る上で必要な項目である。子どもに関連する設問は切り離してはいいかがか。
- ◎ 誤って回答する可能性があるのではないか。
- 問5で子どもの有無を聞く設問があるため、クロス集計で把握することはできる。
- それでは、順番を「ア.」「イ.」「カ.」「ウ.」「エ.」「オ.」とし、家事、介護、育児を連想する並びにしてはいいかがか。
- 問題ない。
- 問9の設問は結婚している方へのみ質問する必要はないのではないか。
- ◎ クロス集計で婚姻の有無を把握することができるのであれば、「現在、結婚（事実婚を含む。）している方にお聞きします」の文言は必要ないのではないか。
- 現代では家庭の形が多様化しているため、回答者を制限する必要はないと考える。
- ◎ 「現在、結婚（事実婚を含む。）している方にお聞きします」の文言は削除する。

問12について、自営業であれば育児、介護休暇や育児休業がない。設問前の「現在、働いている方にお聞きします」の文言は「雇用されて働いている」としてはどうか。また、問14の東京都で実施された育児休業の愛称「育業」の認知度に関する設問は必要か。
- 問14は啓発のために必要であると考え。市民も企業も相互に理解し合う必要があるため、事業所調査にも市民調査にも設問を設けるべきである。
- 「育業」についての設問は、事業所調査にも追加したい。
- 実際に「育業」の愛称が実施された時期など、詳細な説明があると啓発になる。
- ◎ 問13については、働いている方のみへの質問で問題ないか。
- 選択肢に「該当しない」を加えてはいいかがか。
- 「該当しない」を選択肢に加えた場合、将来的に取得したいと考えている方のニーズを把握することができなくなってしまう。そのため、質問文を丁寧にする等して調整したい。
- ◎ 事務局の案で問題ない。質問文で調整いただけるようお願いしたい。
- 問10の選択肢は女性に対するバイアスがかかっているように思う。「1.育児・介護等にかかわらず」の文言は不要なのではないか。
- 国の調査と比較を行うため、文言を統一したが、必ず比較しなければならない訳ではない。比較が必要であるかも含めて意見をいただきたい。
- 「1.職業を持ち続ける方がよい」でよいのではないか。設問も「女性が職業を持つことについて」としてはどうか。
- 男性にも当てはまる設問である。女性が男性に寄るだけでなく、男性が女性に寄っても良い。

- 男性が働くことが当たり前になっており、男らしさを求められることを窮屈に感じる方もいる。男性に対してもバイアスがかかっている。
- ◎ 実際に職業を持つことについて、これまで女性が虐げられてきた面があるため、このような設問を設置している。
ワーク・ライフ・バランスの項目であるが、女性雇用についての設問のため、設問の位置に違和感がある。
- 問 10 を問 6 の下に移動させてはいかがか。
- ▼ 問題ない。
- ◎ 問 15 で、国の調査と同様に 4 つの暴力について記載されているが、DVには「社会的暴力」も存在する。精神的暴力と重複することもあるが、追記する必要があるか。
- 社会的暴力を受けている方も多いのではないかと認識していない可能性もある。意識し、気付かせることが大事である。追記する必要がある。
- 追記する。
- 問 16 に警察が含まれていないが、必要か。選択肢に公的機関を増やしてはいかがか。
- 「その他」を追加してはどうか。
- 選択肢にある「市民なやみごと相談」はどこにあるのか。
- 庁舎 1 階の福祉総務課である。
- ◎ 問 15-1 は、「誰か」という聞き方で問題ないか。
- 設問の意図は、悩みを一人で抱えていないかである。
- ◎ 問 17-1 で「ゆーあいプラン」の認知度を聞く必要はあるか。
- 問 7 で言葉の認知度はお聞きしているが、「市の施策について」の項目に移動させるべきか。
- ◎ 問 17-1 はゆーあいで行っている事業であるため、独立設問にしてはいかがか。
- 指摘のとおり、問 17 の前に独立設問として追記する。
いくつかの設問で「性差」という表現を使っているが、表現についていかがか意見をいただきたい。
- ◎ 「性別」で問題ないとする。
- フォントの大きさ等に問題はないか。
- 大きさについては問題ない。表紙の「—ゆーあいプラン—」の表記が見えづらい。事業所調査も同様である。
- ◎ 表記は「～ゆーあいプラン～」でお願いしたい。
- 修正する。
- ◎ 事業所調査について質問や意見はあるか。
表記については、「事業所調査アンケート」でなく、「事業所調査」で統一してほしい。
- 武蔵村山市内にはいくつかの事業所があり、そのうち何カ所に調査を行うのか。
- 経済センサスによると市内には約 1,700 事業所あり、そのうちの規模が 10 人以上の 300 事業所を対象とする予定である。
- ◎ 調査項目は前回の踏襲か。
- 新しい項目で作成した。
- 事業所に聞きたい設問が入っている。アンケートは事業所に対し、市が職場内の男女共同参画について関心を持っていることを示す良い機会である。
- ◎ 育業の設問も追加してほしい。
- 問 14 の下に追加で問題ないか。

	<p>▼ 問題ない。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業所調査にも市民調査同様に自由記述の追加と最後の礼文の統一を考えている。</p> <p>◎ 事務局案で問題ない。</p> <p>● 調査から未来的な展望が見えると幸いである。</p> <p>● 自由記述の欄に記載いただけると良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業所の調査票への意見は7月28日までにいただきたい。</p> <p>議題3 その他</p> <p><input type="checkbox"/> 第3回武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会は10月中旬で調査結果を報告する予定である。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者：0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>{ }</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： ）</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： ）</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>協働推進部 協働推進課</p>
--------------	--------------------

(日本工業規格A列4番)